

第1回定例会のあらまし

平成18年第1回定例会が、2月22日から3月17日までの24日間の日程で開かれ、平成18年度予算など市長提出議案98件、安全・安心な建築制度の確立を求める意見書など議員提出議案3件を審議し、討論(賛成11新政五月会、21世紀クラブ、千葉市議会公明党、自由民主党千葉市議会議員団、反対11市民ネットワーク、日本共産党千葉市議会議員団)が行われ、平成18年度一般会計予算など30件については、賛成多数により、土地開発基金条例の廃止など70件については、全会一致により原案どおり可決・同意しました。なお、議員提出議案の社会福祉法人等による介護保険サービスに係る利用者負担の軽減に関する条例の制定については、否決しました。さらに、平成18年度一般会計予算などの組み替えを求める動議が提出されましたが、賛成少数により、否決しました。また、代表質疑が6人の議員により、一般質問が11人の議員により行われました。平成18年度予算については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。



千葉城(郷土博物館)と桜

可決した主な議案

総額六千七百十三億六千八百萬円の 新年度予算を可決

《予算》

*平成18年度各会計予算

平成18年度予算は、第2次5か年計画の初年度として、計画を着実に推進し、市民福祉の一層の向上と地域の均衡ある発展を図り、「千葉市らしさの確立」「安全・安心のまちづくり」など12の「まちづくりの大切な視点」を基本として施策の充実を図ります。また、一層の経費の節減合理化に努め、限られた財源を重点的・効率的に配分した結果、前年度と比較して4・8%減の総額六千七百十三億六千八百萬円となります。

このうち、一般会計は前年度と比較して2・7%減の三千二百二十二億円に、特別会計(企業会計を含む)は6・7%減の三千三百九十億六千八百萬円となります。

*平成17年度一般会計補正予算

国の災害対策などによる国庫補助金の決定に伴い、小中学校大規模改修費やアスベスト対策経費などに、合わせて二百二十億二百万円を追加します。これにより、一般会計の予算総額は、三千六百六十六億一千八百萬円となります。

*平成17年度特別会計補正予算(企業会計を含む)

国民健康保険事業特別会計など4事業会計に、合わせて四十一億四千万円を追加します。これにより、企業会計を含めた特別会計の予算総額は、三千六百七十九億四百万円となります。

《条例》

*千葉市消費者保護条例の全部改正

名称を「千葉市消費生活条例」に改め、基本理念の規定を見直すほか、不適正な事業者行為に対する是正の勧告に応じない事業者の氏名を公表できることとするなど条例の全部を改正します。

*乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部改正

平成18年8月から乳幼児の医療費助成を小学校就学前の幼児まで拡充するため、条例の一部を改正します。

*千葉市介護保険条例の一部改正

平成18年度から20年度までの第1号被保険者(65歳以上)の保険料率を定めるため条例の一部を改正します。

*千葉市立中学校設置条例の一部改正

新たに、平成19年度から中高一貫教育を行うため、市立稲毛高等学校附属中学校を設置します。

《和解》

千葉都市モノレール株式会社の経営再建を図るため、財産の出資や権利の放棄、市の基本協定の解除などを内容として、県、市、同社の3者により和解します。

《指定管理者の指定》

コミュニケーションセンター、公園、体育施設など101施設の指定管理者をそれぞれ指定します。

委員会審査・調査から

常任委員会

3月9日および14日に開かれ、市長提出議案78件、議員提出議案1件、請願2件、陳情1件を審査しました。

その結果、市長提出議案はすべて可決となり、議員提出議案の千葉市社会福祉法人等による介護保険サービスに係る利用者負担の軽減に関する条例の制定については否決となりました。

また、請願・陳情は、不採択1件、継続審査2件となりました。

総務委員会

議案23件を審査し、消費者保護条例の全部改正について、現条例に対する評価、消費者基本法を上回る改正点、想定される対処困難事例、高齢者被害対策の具体的な内容、消費者保護体制の整備に向けた課題、消費者訴訟への援助額、高齢者や若者への周知方法について質疑がありました。

このほか、消費生活審議会の構成員と役割、消費者の権利の確立に向けた市の責任、施策に対する意見聴取の方法、区役所での消費者相談の実施の有無などについて質疑がありました。

保健下水委員会

議案26件（議員提出議案1件）、陳情1件を審査し、障害者自立支援法



新しくなった桜木園（重症心身障害児施設）

施行条例の制定について、障害者自立支援法に対する見解、障害者介護給付判定審査会の役割および委員構成、事業者が虚偽の報告をした場合などに罰則が適用される事例について質疑がありました。

また、議員提出議案の社会福祉法人等による介護保険サービスに係る利用者負担の軽減に関する条例の制定については、本条例の実施による市の負担額および軽減対象者数、本条例と国の補給付制度および社会福祉法人など利用者負担軽減対策との差異、本条例により在宅および施設におけるサービスを利用した場合の負担額などについて質疑がありました。

環境建設委員会

議案4件、請願1件を審査し、新港横戸町線京成電鉄千葉線交差部工事などの工期変更について、工期延長の原因および当初設計において予測できなかった理由、また工期延長に伴う費用および本市負担の有無、受託事業者における入札状況および各工事の発注先について質疑がありました。

また、新港横戸町線整備事業全体に関し、完成予定および総事業費変動の有無、将来推計交通量を見直すことへの見解などについて質疑がありました。

▼ごみ集積所の原状回復を求める請願 不採択

経済教育委員会

議案18件を審査し、市立稲毛高等学校附属中学校の設置について、中高一貫教育の教育効果、要望状況、入学者の選抜方法、校長・教員の選考方法、教育目標に掲げる真の国際人の育成および文武両道の教育への見解、そのほか、市内の不登校生徒や高校中退者の現状などについて質疑がありました。

都市消防委員会

議案12件、請願1件を審査し、都市モノレール施設条例の制定など関係3議案について、新年度予算での調査費計上の目的、調査結果の議会および市民への提示、県および千葉大

学との交渉状況、和解後の県の協力延伸に係る道路の拡幅計画と需要予測への影響、基金の使途、パーク・アンド・ライドの検討状況、千葉駅のエレベーター設置、協定解除について市民の理解を得る努力、再建計画の実現可能性、利用しやすい運賃設定などについて質疑がありました。



市が主体となったモノレール事業

なお、次のとおり所管事務調査が行われました。

環境建設委員会

* アスベスト問題への総合的な対応策について

* JFEスチール(株)東日本製鉄所千葉地区における環境問題について

* 学校適正配置（統合）について

都市消防委員会

* 千葉都市モノレールについて

* 既存建築物吹付アスベスト対策助成制度の創設について

* 分譲マンション構造計算検証助成制度の創設について

* 東横イン問題について

都市臨海部開発問題調査特別委員会

3月23日に開かれ、小売商業出店影響度調査の結果、蘇我球技場の運営状況、蘇我エコージョーパークにおけるルール策定などについて協議しました。

予算審査特別委員会

平成18年度一般会計および特別会計予算議案を審査するため、3月3日に全議員で構成する予算審査特別委員会（2分科会）を設置し、計5日間にわたり審査しました。

3月16日の予算審査特別委員会では、2分科会の審査概要について報告が行われた後、各会派の意見表明が6人の委員により行われ、採決の結果、各会計予算を原案どおり可決しました。

委員長	森 茂 樹	副委員長	前 沢 勝 之
第一分科会主査	黒 宮 昇	第二分科会主査	常 賀 かづ子

市長に要望した指摘要望事項

- 1 財政運営については、厳しい財政状況であることから、財政健全化に取り組まれるとともに、市税については、引き続き収納率の向上に努力されたい。
- 2 防犯対策の推進に当たっては、地域住民に配慮しつつ、防犯活動への積極的な支援を講ずるとともに、庁内はもとより、警察等関係機関と連携し、犯罪の抑止に取り組まれない。
- 3 障害者の自立支援については、新年度から大幅に制度が変更されることから、利用者に不安や混乱が生じることのないよう万全な対応を期されたい。
なお、就労支援については、関係部局と連携のうえ、効果的な施策展開を図られたい。
- 4 一般廃棄物ごみ処理基本計画の策定に当たっては、より一層の減量・再資源化策とともに、ごみ処理のあり方を十分に検討し、将来を見据えた確かな施策展開がなされるよう取り組まれない。
- 5 企業立地の促進に当たっては、雇用創出や税源の涵養を図ることはもとより、市が主体性を発揮し、立地による相乗効果をも視野に入れ、市内経済のさらなる活性化に向けた効果的な誘致活動に努められたい。
- 6 モノレールの延伸については、周辺地域の交通体系への影響が大きいことから、モノレール利用者やバス事業者を初めとする幅広い関係者から意見を聴取の上、進められたい。

一般質問

一般質問が、3月13日から16日までの4日間に11人の議員により行われました。主な質問項目は次のとおりです。

- 内部障害者の支援について
- 清掃工場の長期責任型運営維持管理委託事業について
- 学費の負担軽減について
- 戦略的な自治体経営について
- 防災対策について
- 学区等の見直しについて
- 動物愛護について
- 市民参加条例の制定に向けて
- ファミールハイツイ内の道路整備について
- アスベスト対策について
- 障害者福祉の充実について

稲垣昌彦議員 逝去



稲垣昌彦議員（64歳、千葉市議会公明党、中央区選出）におかれましては、平成18年3月23日にご逝去されました。同議員は、昭和50年に初当選以来、連続8期31年にわたりご活躍されました。

在職中は、副議長、都市消防委員会委員長などを歴任され、本市の発展に大きく貢献されました。

ここに哀悼の意を表し、謹んで冥福をお祈り申し上げます。

お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成18年第2回定例会は6月8日(木)に開会する予定です。本会議は、原則として公開いたしますので、どなたでも傍聴できます。傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。会議日程は6月5日(月)に決まる予定です。

表紙から

表紙の写真は、第5回千葉城さくら祭りの会場となった亥鼻公園の様子です。4月上旬の亥鼻公園は、千葉氏ゆかりの地に建てられた郷土博物館（千葉城）と桜の美しい風景で多くの市民を楽しませてくれます。また、夜桜をライトアップし夜空に桜が浮かび上がる幻想的な雰囲気も味わうことができます。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎043(245)5472